

# シロスジタコゾウムシ神戸市内で採集

(兵庫県甲虫相資料・232)

高橋 寿郎

シロスジタコゾウムシ *Hypera adspersa* (Fabricius) はヨーロッパ産標本で Fabricius によって Curculio 属で記載された種である (Ent. Syst. 1(2): 413, 1792)。日本からの記録は *Phytonomus adspersus* var. *japonicus* として Petri によって記録されている (Verh. Siebenb. Ver. Nat., 2, Sep.-Band. IV: 128, 1901)。

A. Hoffmann によるとヨーロッパ、シベリア、日本に産する種としている (Faune de France 59, Coleopt. Curculionidae pp. 580-581, 1954)。

森本 桂博士は *Hypera adspersa* として日本の北海道、本州に属する種として記録された (Sci. Bull. Fac. Agr. Kyushu Univ. 19(3)344, 1962)。さらに原色でも図説されている (原色日本甲虫図鑑 IV, pl. 55, f. 30, p. 282, 283, 1984)。

セリ、ハマボウフを食草とするようである。兵庫県下から従来記録がなかった種だと考えられるが、筆者は神戸市内で 2exs. 採集しているので記録しておきたい。野外で道端の草葉上にいるのを共に採集したのであるがはっきりした白い筋が印象的で割合大きく (体長 7mm よりやや大きい) 大変目につき易い。ただし個体数は多くないのかもしれない。産地。神戸市西区伊川谷前開 (lex., 21-VII-1988, lex., 28-IX-1988)。

(AUG. 1989)